



FIBER 繊維学会誌

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

特集〈繊維学会創立70周年記念、元会長・名誉会員放談〉

||| 報 文 ||| Original Articles



真のサブミクロン3D観察を実現

高分解能
3DX線頭微鏡

nano3DX

High-resolution 3D X-ray microscope

微細構造の解明と定量解析に貢献

非破壊・サブミクロンオーダーで、高分子複合材料・プラスチック・医薬品・生体材料・微小電子部品などの内部構造を3D観察し、解析します。

High resolution

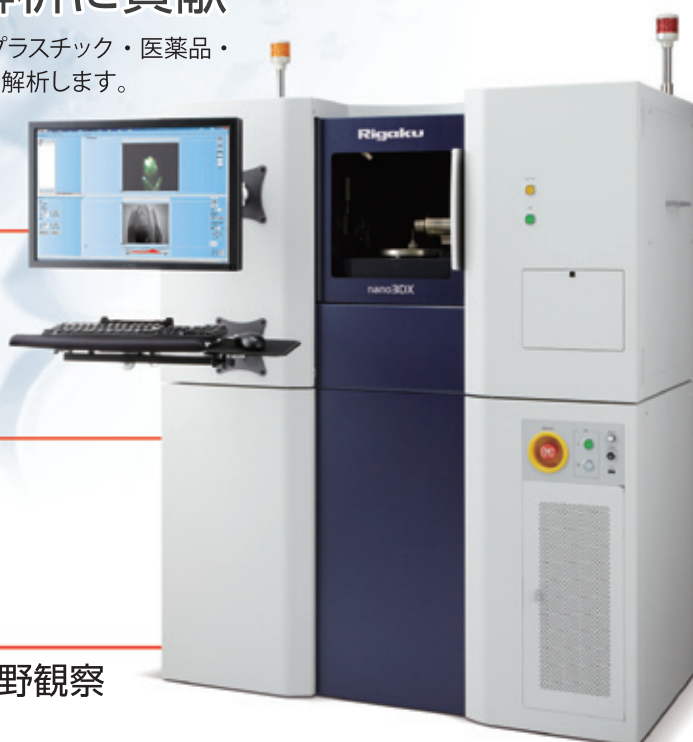
- ▶ 高い2D・3D空間分解能
(0.27 $\mu\text{m}/\text{pixsl}$)

High contrast

- ▶ 高い密度分解能
(高コントラスト)

Wide range

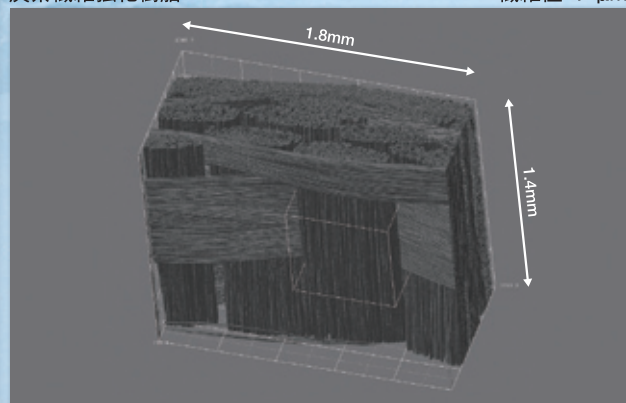
- ▶ 高分解能での大視野観察



高分解能大視野観察

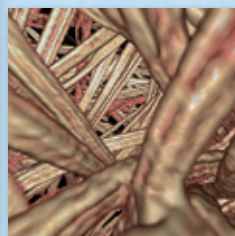
炭素繊維強化樹脂

※繊維径: 7 μm



救急絆創膏の観察

仮想内視鏡画像



粘着部と不織布性パッドの
接合状態





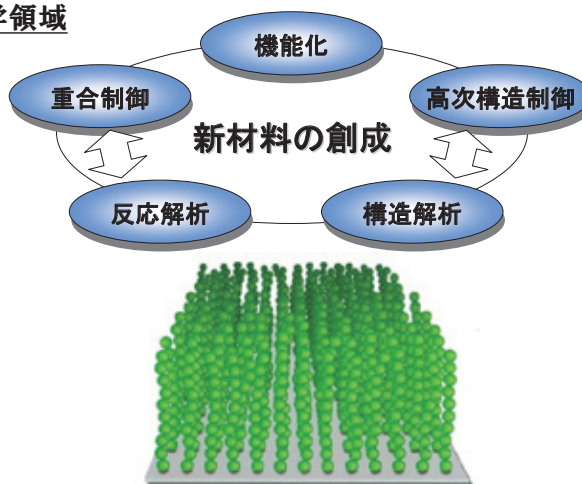
京都大学 化学研究所

知の蓄積と多様な学問分野の連携・融合により、
新しい研究分野の開拓を目指します。
京大化研は世界に向けて、新たな知への挑戦を続けます。



材料機能化学研究系 高分子材料設計化学領域

高分子の精密重合法、特にリビングラジカル重合法の基礎と応用に関する研究を行っています。応用研究では、特に、無機・有機・金属など各種の固体表面を対象とする表面開始リビングラジカルグラフト重合法の開発と、これにより得られる新規な表面「濃厚ポリマーブラシ」の構造・物性と機能開発に関する研究を展開しています。



京都大学 化学研究所 材料機能化学研究系 高分子材料設計化学研究領域

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

TEL 0774-38-3160

FAX 0774-38-3170

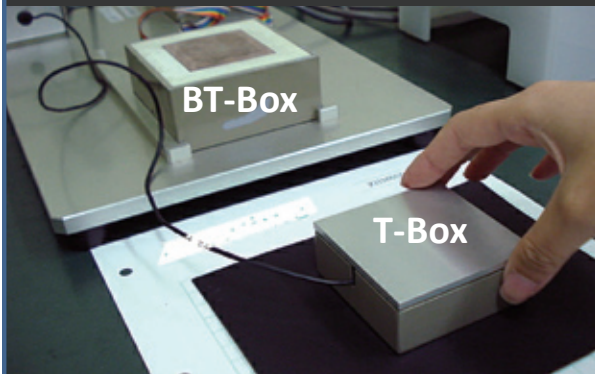
<http://www.cpm.kuicr.kyoto-u.ac.jp/>

KES-F7 THERMO LABO 精密熱物性測定装置

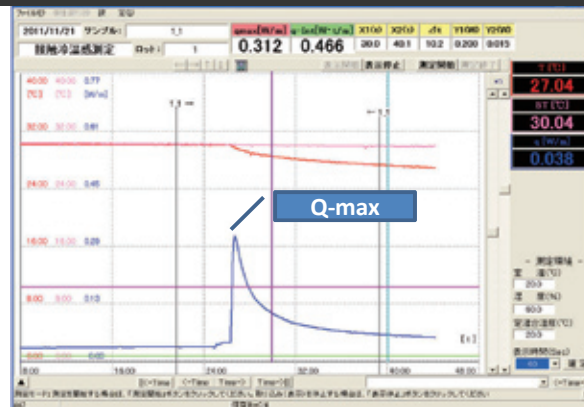
繊維評価に欠かせない装置
Kawabata Evaluation Systems

カトーテック株式会社
京都市南区西九条唐戸町 TEL075-681-5244

接触冷温感測定

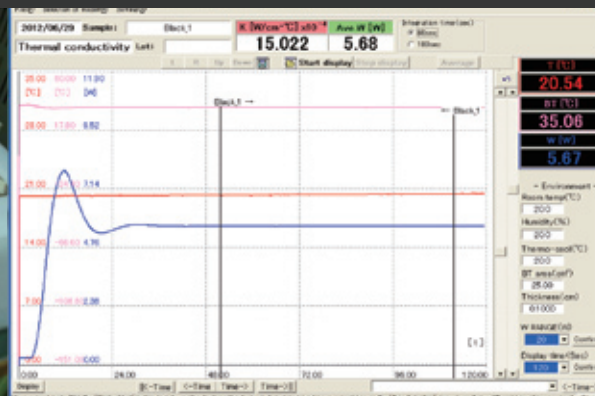
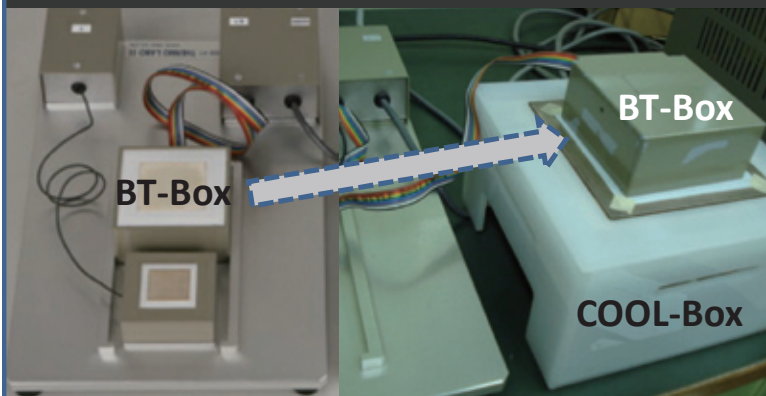


BT-Box上で蓄熱させたT-Boxをサンプル上に置いた時の熱流量最大値 $Q_{\max}$ (W/m²)を測定します。
 $Q_{\max}$ が高いほど接触冷感の高いサンプルです。



測定中はソフトウェア上で時系列に確認。
画面の再現BIN/CSVデータとして保存可能。

熱伝導特性測定



設定温度に温めたBT-Boxをサンプルを介して $\Delta 10^{\circ}\text{C}$ に保たれたCOOL-Boxに置いた時、設定温度を保つために消費されるBT-BoxのW消費電力を見る。

W変動確認や60/180sec間のW値積算が可能。
(海外出荷対応: 英語表記可能)

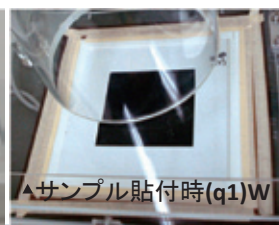
■ 熱コンダクタンス(W/m²・K) = W/BT面積x10($\Delta^{\circ}\text{C}$)

保温性測定



- 条件 BT-Plate温度を環境温度+10 $^{\circ}\text{C}$ に設定します。(30cm/sec風速下)
- 測定 試験片20x20cmをBT-Plateにセットした時/裸状時の消費電力Wを見ます。(60/180sec間積算できます)
- 計算

$$\text{保温率 (\%)} = (1 - q_1/q_0) \times 100$$



クール繊維や防寒機能繊維の評価に使用されています。
Clo値の算出も可能。

繊維学会誌

平成 26 年 1 月 第 70 巻 第 1 号 通巻 第 814 号

目 次

繊維と工業(Reviews and News)

- 【時 評】究極の繊維技術で未来を紡ぐ 平井 利博 ... P-1
- 【特 集】〈繊維学会創立 70 周年記念、元会長・名誉会員放談〉 P-2
- 内田 盛也, 瓜生 敏之, 大口 正勝, 梶 慶輔, 小見山二郎
酒井 哲也, 白井 汪芳, 鈴木 三男, 高岸 徹, 松崎 啓
浅井 恒雄, 川口 春馬, 木村 良晴
- 【解 説】文部科学省 大学間連携共同教育推進事業、繊維系大学連合による次世代繊維・
ファイバー工学分野の人材育成、「繊維・ファイバー工学コース」の取組について
..... 塚田 益裕 ... P-31
- 【新春特別紀行】シルクを求めてイギリスを歩く(その 1) 三浦 幹彦 ... P-33
- 【繊維学会創立70周年記念連載】〈技術が支えた日本の繊維産業－生産・販売・商品開発の歩み－ 5〉
IV、戦後の紡績復興 松下 義弘 ... P-37

報 文(Original Articles)

- 【一般報文】酸化染毛システムによるケラチン繊維の染色挙動
－ EDTA およびアスコルビン酸の作用機構－ 桑原 里実・上甲 恭平 ... 1
- ボールミル処理により調製した羊毛の高次構造と染色性
..... 宮本ひとみ・釣谷 隆・吾郷万里子・山根 千弘・上田 充夫・岡島 邦彦 ... 8
- 偏光顕微 FT-IR 法による出土植物性繊維製品の材質調査の基礎的研究(Ⅱ)
－ 現代産苧麻における赤外偏光特性について－ ... 奥山 誠義・佐藤 昌憲・赤田 昌倫 ... 14
- 【研究速報】High-Efficient Chemical Preparation of Catechinone Hair Dyestuff by Oxidation of
(+)-Catechin in Water / Ethanol Mixed Solution
..... Takanori Matsubara, Isao Wataoka, Hiroshi Urakawa, and Hidekazu Yasunaga ... 19

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 70, No. 1 (January 2014)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

Spinning Our Future from Ultimate Fibers Toshihiro HIRAI ... P-1

〈Special Issue on the 70th Anniversary of The Society of Fiber Science and Technology, Japan :

Messages from Former Presidents and Honorary Members〉 P-2

Moriya UCHIDA, Toshiyuki URYU, Masakatsu OHGUCHI, Keisuke KAJI

Jiro KOMIYAMA, Tetsuya SAKAI, Hirofusa SHIRAI, Mitsuo SUZUKI

Toru TAKAGISHI, Kei MATSUZAKI, Tsuneo ASAI, Haruma KAWAGUCHI

Yoshiharu KIMURA

〈Review〉

Actual Situation on Promoting Inter-University Collaborative Education ... Masuhiro TSUKADA ... P-31

〈New Year Special Travel Report〉

Silk Walking in England (1 of 3) Mikihiro MIURA ... P-33

〈Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

– History of the Production, Sales, and Product Development–5〉

IV, Postwar Recovery of Cotton Spinning Yoshihiro MATSUSHITA ... P-37

[Original Articles]

〈Transactions〉

Dyeing Behavior of Keratin Fibers with Oxidative Dyeing System:

Mechanism for the Respective Effects of Each EDTA and Ascorbic Acid

..... Satomi KUWABARA and Kyohei JOKO ... 1

Structure and Dyeing of Wool Treated by a Ball-Milling Method

..... Hitomi MIYAMOTO, Takashi TSURITANI, Mariko AGO, Chihiro YAMANE,

Mitsuo UEDA, and Kunihiro OKAJIMA ... 8

Basic Studies on the Identification of Excavated Archaeological Textile Fibers Using Polarized

FT-IR Micro-Spectroscopy [II] –The Investigation of the Infrared Dichroism of Ramie–

..... Masayoshi OKUYAMA, Masanori SATO, and Masanori AKADA ... 14

〈Rapid Communication〉

High-Efficient Chemical Preparation of Catechinone Hair Dyestuff by Oxidation of

(+)-Catechin in Water / Ethanol Mixed Solution

..... Takanori MATSUBARA, Isao WATAOKA, Hiroshi URAKAWA,

and Hidekazu YASUNAGA ... 19

Sen'i Gakkaishi

(Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan)

Vol.70 No.1

January 2014

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

[Transactions]

- Dyeing Behavior of Keratin Fibers with Oxidative Dyeing System:
Mechanism for the Respective Effects of Each EDTA and Ascorbic Acid
..... Satomi Kuwabara and Kyohei Joko ... 1
- Structure and Dyeing of Wool Treated by a Ball-Milling Method
..... Hitomi Miyamoto, Takashi Tsuritani, Mariko Ago, Chihiro Yamane,
Mitsuo Ueda, and Kunihiro Okajima ... 8
- Basic Studies on the Identification of Excavated Archaeological Textile Fibers Using Polarized
FT-IR Micro-Spectroscopy [II] –The Investigation of the Infrared Dichroism of Ramie–
..... Masayoshi Okuyama, Masanori Sato, and Masanori Akada ... 14

[Rapid Communication]

- High-Efficient Chemical Preparation of Catechinone Hair Dyestuff by Oxidation of
(+)-Catechin in Water / Ethanol Mixed Solution
..... Takanori Matsubara, Isao Wataoka, Hiroshi Urakawa, and Hidekazu Yasunaga ... 19

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ベタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

報文フォーマット変更のお知らせ

平成 24 年 9 月号より、報文の紙面を下記の様に一部変更させていただきました。

1. 和文、英文とも、Corresponding Author を明示するようにしました。
2. 和文の著者名表示方法を英文に合わせ、所属は 1 ページ目左下に記すようにしました。

なお、学会 HP 掲載のファイルは既に新フォーマットに準拠しています。新規の御投稿にはなるべくこれを利用し、投稿カードと共にメール(hobun-submit@fiber.or.jp)に添付してご投稿ください。また、旧フォーマットで受理された原稿の場合、投稿カードの連絡先に記された方を Corresponding Author とさせていただきます。変更を希望される場合は、proof check の際に変更してください。

「報 文」編集委員

Sen' i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬧 谷 要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河 原 豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木 村 邦 生(岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦 史(静岡大学) Atsushi Kubono
	澤 渡 千 枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤 柄 佐千子(京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高 寺 政 行(信州大学) Masayuki Takatera
	武 野 明 義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或(釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡(京都大学) Masatoshi Tosaka
	久 田 研 次(福井大学大学院) Kenji Hisada	菅 井 清 美(新潟県立大学) Kiyomi Sugai	山 根 秀 樹(京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉 水 広 明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和 田 昌 久(東京大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2012&2013)

President T. Hirai (Shinshu University)

Vice-President T. Hori (University of Fukui)

T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

H. Hoshiro (Kuraray Co.,Ltd)

Member-promoting Officer H. Ogino (Tokyo University of Agriculture&Technology)

Editor "Sen'i to Kogyo" A. Tsuchida (Gifu University)

Treasurers S. Shoda (Tohoku University)

T. Nishimatsu (Shinshu University)

K. Tashiro (Toyota Technological Institute)

K. Miyazaki (University of Fukui)

Y. Tsujii (Kyoto University)

M. Higa (Yamaguchi University)

Planning Officers T. Kanaya (Kyoto University)

Y. Maeda (Toray Industries,inc)

M. Fukui (Asahikasei Fibers Corporation)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
26. 1. 17(金)	第 39 回 CPD(共通課題)講演会(大阪市・大阪産業創造館)	A7
1. 23(木)	2014学術ミキサー(大阪市・大阪市中央公会堂)	A3
1. 28(火)	フロンティアソフトマター開発専用ビームライン産学連合体 第 3 回研究発表会(東京都・東京工業大学 蔵前会館)	A9
2. 7(金)	平成 25 年度「最新の繊維技術レビュー」講演会(東京都・キャンパス・イノベーション・センター国際会議室)	A4
2. 7(金)	セルロース学会第19回ミクロシンポジウム「セルロースナノファイバーの研究開発フロンティア」-未解決問題を整理して新しい展開を探る-(大阪市・大阪大学中之島センター)	A7
2. 14(金)	第 27 回複合材料セミナー グローバルな経済成長とエコフレンドリーな地球の実現に向けて、今、炭素繊維飛躍の時！(東京都・コクヨホール)	A7
2. 14(金)	第 40 回 CPD(繊維技術)講演会(大阪市・大阪産業創造館)	A7
2. 20(木) 21(金)	第 18 回省エネルギーセミナー「エネルギーコストのより一層の低減・省エネ促進とプラントの効率向上」(東京都・タワーホール船堀小ホール)	A8
2. 22(土) 3. 15(土)	平成 25 年度「アパレル製品の基礎知識」講座(東京)(東京都・機械振興会館)	A8
2. 25(火)	腐食防食部門委員会 第 60 回研究集会「9Cr 耐熱鋼-9Cr ボイラ鋼管研究グループの活動報告」(大阪市・大阪科学技術センター)	A8
2. 28(金)	13-3 エコマテリアル研究会(東京都・東京大学生産技術研究所)	A9
3. 4(火)	第 11 回キンカ高分子化学研修コース(大阪市・大阪科学技術センター)	A10
3. 7(金)	ファイバーネットワークを先導する国際フォーラム 信州大学博士課程教育リーディングプログラム「ファイバーネットワークを先導するグローバルリーダーの養成」国際フォーラム Shinshu Forum 2014 on Fiber Renaissance(東京都・ホテル ニューオータニ)	A10
3. 12(水)	第 200 回記念ゴム技術シンポジウム 新たな特性を実現させるための配合技術Ⅲ～原材料の活用 構造制御と物性発現～(東京都・東京電業会館 地下ホール)	A9
3. 19(水)	第 41 回繊維加工シンポジウム-繊維加工の現況-(東京都・昭和女子大学)	A9
6. 11(水) ～13(金)	平成 26 年度繊維学会年次大会(創立 70 周年記念大会)研究発表会・ポスター 発表募集(東京都・タワーホール船堀)	A5～6
9. 28(日) ～10. 1(水)	繊維学会創立 70 周年記念事業 International Symposium on Fiber Science and Technology 2014 (ISF2014) 繊維の科学と技術に関する国際シンポジウム 2014(東京都・ビッグサイト東京ファッションタウン(TFT)ホール)	平成25年12月号
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年 6 月号
	繊維学会定款(平成24年 4 月 1 日改訂)	平成24年 3 月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	訂正・変更届用紙	平成24年12月号
	繊維学会入会申込書(維持・賛助会員用)	平成25年11月号
	繊維学会入会申込書(正・学生会員用)	平成26年 1 月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年 1 月 1 日改訂)	平成26年 1 月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長 土田 亮(岐阜大学)

編集副委員長 髯谷 要(和洋女子大学大学院) 出口 潤子(旭化成せんい(株))

編集委員 植野 彰文(KBセーレン(株)) 大島 直久(東海染工(株)) 金 翼水(信州大学) 澤田 和也(大阪成蹊短期大学)
高瀬 栄一(三菱レイヨン(株)) 高崎 緑(宮城教育大) 寺本 喜彦(東洋紡(株)) 中西 輝薫(ユニチカトレーディング(株))
西田 幸次(京都大学化学研究所) 増田 正人(東レ(株)) 村上 泰(信州大学) 八重田 徹(王子ホールディングス(株))
山田 秀夫(帝人(株))

顧問 浅井 恒雄(科学技術ジャーナリスト) 浦川 宏(京都工芸繊維大学大学院)

平成25年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
学術ミキサー	平成26年 1 月23日(木)	大阪市中央公会堂／小集会室
最新の繊維技術レビュー	平成26年 2 月 7 日(金)	CIC 田町(国際会議室)
学会賞各賞選考委員会	平成26年 2 月 8 日(土)	CIC 田町

平成26年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成26年度年次大会	平成26年 6 月11日(水)～13日(金)	タワーホール船堀(東京)
創立 70 周年記念事業 (式典・国際シンポジウム)	平成26年 9 月28日(日)～10月 1 日(水)	ビッグサイト東京ファッションタウン TFT ホール(東京・有明)

創立70周年記念事業募金状況の中間報告

(平成 25 年 12 月 14 日現在の寄付金)

寄 付 数	口 数	金 額
個 人 196 名	995 口	4,973,000 円
企 業・団 体 34 団体	98 口	4,910,000 円
230 件		9,883,000 円

(目標金額 12,000,000 円)

創立 70 周年記念事業趣旨

繊維関連の科学技術は、宇宙航空産業から自動車などの移動体、情報通信、医療・介護、防災・環境、エネルギー技術に至る極めて広い範囲に展開し、新たな産業分野を形成しながら持続的な成長を続けており、多分野が一層密に連携した迅速な取り組みを必要としています。

このような認識のもと、繊維学会では、創立 70 周年を期に、これまでの学会活動を一層発展させるべく、

- (1) わが国の産学官の総力を結集した総合的な繊維関連産業・文化政策への貢献
- (2) 海外との連携強化と積極的な情報発信・研究ネットワークの構築、これらを活用した人材育成の強化
- (3) 斬新な繊維関連科学技術の提案と挑戦、先端領域の創発
- (4) 領域横断型の先導的な繊維産業分野の展開に資する取り組みを推進します。

わが国の繊維産業の新たな活力のための起点となることを念願して、創立 70 周年記念事業を開催します。

繊維学会創立 70 周年記念事業の日程と内容

日 程	式典・記念講演	新繊維技術展示会	ISF2014 国際シンポジウム ファッションショー 新繊維素材シンポジウム	アトラクション
9/28(日)	70周年記念式典 記念講演 3 件 (ホール 500)	17 時から内覧会 共催：日本化学繊維協会 (ホール 300&ホワイエ)		18 時 30 分から 祝賀会：有明ワシントンホテル、 ウエルカムパーティー
9/29(月)		技術展示会(ホール 300&ホワイエ) 技術交流、B-to-B 交流、 技術説明会	ISF2014 国際シンポジウム 基調講演 4 件 (ホール 1000)	
9/30(火)		技術展示会(ホール 300&ホワイエ) 技術交流、B-to-B 交流、 技術説明会	ISF2014 国際シンポジウム 基調講演 2 件(ホール 1000) 16 時よりファッションショー 共催：文化学園大学(ホール 1000)	18 時 30 分から パンケット：有明 TOC
10/1(水)		技術展示会 (ホール 300&ホワイエ) 15 時まで開催	新繊維素材シンポジウム 基調講演 2 件 主催：日本化学繊維協会 (ホール 1000、同時通訳付き)	15 時から B-to-B 懇談会(名刺交換会)

本年度総会にて、正会員の年会費を平成 26 年 4 月 1 日から改定することが決議されました。

平成 26 年 4 月からの年会費(学会誌の配本を含みます)：

個人会員 正 会 員 9,600 円

「2014 学術ミキサー」のご案内

企画委員長 保 城 秀 樹
実行委員長 井 上 真 理

繊維学会では新年を迎えるに当たりまして、「2014 学術ミキサー」を大阪にて開催させていただきます。ご承知のとおり、ここ 10 数年の繊維業界を取り巻く環境は、ますます産官学の連携並びに協力がより重要な時代となっており、

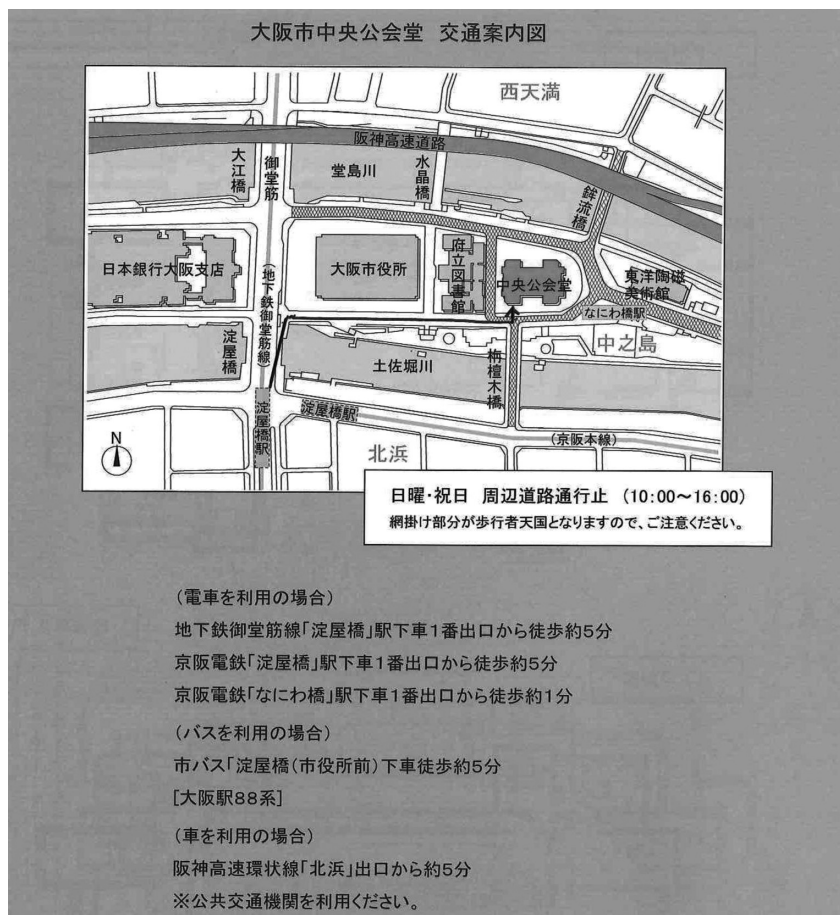
このような中、平素よりご支援、ご指導を頂いております大学、研究機関、企業並びに関連団体の方々との間で情報交換をしていただきながら、繊維関連の学術と産業について今後を展望したいと存じます。

つきましては、皆様のご出席を賜りますようよろしくお願い致します。

また、平成 26 年 9 月に開催します繊維学会創立 70 周年記念事業の内容などについてもご説明させて頂ければと思っています。

主 催：(一社)繊維学会
協 賛：(一社)日本繊維機械学会、(一社)日本繊維製品消費科学会
日 時：平成 26 年 1 月 23 日(木) 12:00~14:00(2 時間)
(11:20 から受付開始)
会 場：大阪市中央公会堂 3 階 小集会室
(大阪市北区中之島 1-1-27)
内 容：講 演 京都工芸繊維大学 学長 古 山 正 雄
参加費：3,000 円 (当日、受付にてお支払いください)
(賀詞交歓会を兼ねた懇談会を予定しています)

参加申し込みは、FAX またはメールで繊維学会事務局まで。



- * 中央公会堂小集会室へは、矢印で B1 レストランの西階段から入り、EV-4 エレベーターで 3 階まで上がってください。
- * 専用駐車場がありませんので、ご出席の方は電車をお願いします。

平成 25 年度「最新の繊維技術レビュー」講演会

繊維学会の最新の繊維技術レビュー講演会は、国内の化繊メーカーが開発した新規素材を紹介する『最新の化繊メーカー技術』と全国で匠の独自技術を駆使して開発した繊維製品を紹介する『日本を支える独自技術』の二部に分けて講演を予定しております。今回は、経済産業省繊維課の渡邊宏和課長代理様より『成長戦略が求める繊維技術(仮称)』を招待講演として予定しております。今後の繊維業界を支える未来技術の動向を知るには絶好の機会と存じますので、繊維業界のみならず、異業種の方々も多数のご参加をお願いいたします。また、名刺交換会を予定しておりますので、産官学の情報交換の場としても是非、ご参加ください。

主 催：一般社団法人 繊維学会

日 時：平成 26 年 2 月 7 日(金) 9:20～16:20

場 所：キャンパス・イノベーション・センター国際会議室(東京都港区芝浦 3-3-6)

(交通) JR 山手線・京浜東北線 田町駅(徒歩 1 分)、都営三田線・浅草線三田駅 (徒歩 5 分)

プログラム：

(招待講演)

(1) 9:20～10:00 成長戦略が求める繊維技術(仮称) 経済産業省製造産業局繊維課 課長代理 渡邊 宏和

(第 1 部：最新の化繊メーカー技術)

(2) 10:00～10:40 ヒッグス粒子発見に貢献したシンチレーション光ファイバー (株)クラレ新潟事業所 新治 修

(3) 10:40～11:20 縦型繊維配向不織布“V-Lap?”の開発と商品展開 帝人(株)高機能繊維事業本部 出井 丈也

(4) 11:20～12:00 ベンリーゼフェイスマスクの開発 旭化成せんい(株)不織布事業部 町岡 経子

12:00～12:50 - 昼食休憩 -

(5) 12:50～13:30 部屋干し対応素材：ボンネル TMAg 三菱レイヨン(株)大竹研究所 御宮知直樹

(第 2 部：日本を支える独自技術)

(6) 13:30～14:10 ミツヤの環境調和型の後加工技術 (株)ミツヤ 取締役 新商品開発部長 水囊 満

(7) 14:10～14:50 繊維間に空隙をもたせた高吸水タオル“エアーカー” (仮) 浅野撚糸(株) 代表取締役 浅野雅己

14:50～15:00 - 休 憩 -

(8) 15:00～15:40 進化するタテアミ～TOCOCIE(トコシエ)～

ケーシーアイ・ワープニット(株) 開発次長 坂下 剛

(9) 15:40～16:20 「モーブラシャント」の開発について (有)モーハウス 代表取締役 光畑 由佳

講演会終了後に名刺交換会を予定しています。

定 員：100 名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：正会員・企業会員(含む維持・賛助会員)：17,000 円 企業非会員：20,000 円

大学官公庁関係会員：12,000 円 大学官公庁非会員：16,000 円

学生会員：5,000 円 学生非会員：7,000 円

申し込み：参加申し込みはホームページの 最新の繊維技術レビューからお願いします。

参加費は銀行振込みでお支払いください。振り込み手数料は振込人にてご負担ください。

銀行の領収書をもって本会からの領収書に代えさせていただきます。

(みずほ銀行 目黒支店 普通口座 1894348 繊維学会講演会)

領収書の必要な方は事前にご連絡ください。

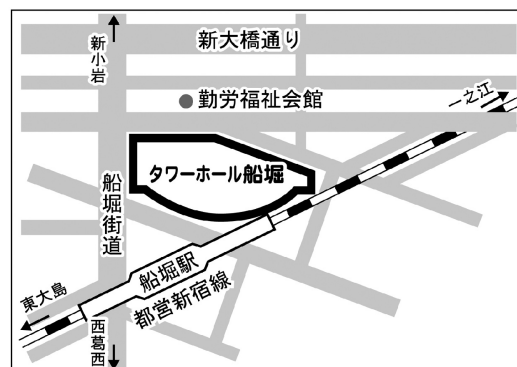
問い合わせ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

(一社)繊維学会 TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260

E-mail:office@fiber.or.jp ホームページ: <http://www.fiber.or.jp/>

**平成 26 年度繊維学会年次大会
(創立 70 周年記念大会)
研究発表会・ポスター 発表募集**

1. 日 時：平成 26 年 6 月 11 日(水)～13 日(金)
2. 会 場：タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール)
〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1
TEL:03-5676-2211 FAX:03-5676-2501
<http://www.towerhall.jp/>
〈交通〉都営地下鉄新宿線船堀駅下車北口徒歩 30 秒



3. 開催概要

繊維学会は、平成 25 年 12 月に創立 70 周年を迎え、26 年度には様々な記念事業を開催します。それに合わせて本年次大会に創立 70 周年記念企画を準備します。また、創立 70 周年を機に、特に若手研究者の活躍を積極的に支援したく、「若手優秀発表賞」を拡充します。会員の皆様には、最新の研究成果に関する発表と討論の場、ネットワークを広げる場に本年次大会を積極的にご活用ください。

4. 発表分野：プログラム編成にあたり、発表内容を加味して、分野変更や分野統合などを行う可能性があります。予めご了承ください。

- [1. 繊維・高分子材料の創製] 1a 新素材合成、1b 素材変換・化学修飾、1c 無機素材・無機ナノファイバー・有機無機複合素材
- [2. 繊維・高分子材料の機能] 2a オプティクス・フォトニクス、2b エレクトロニクス、2c イオニクス、2d 機能膜の基礎と応用、2e 接着・界面/表面機能、2f 耐熱性・難燃性
- [3. 繊維・高分子材料の物理] 3a 結晶・非晶・高次構造、3b 繊維・フィルムの構造と物性、3c 複合材料の構造と物性
- [4. 成形・加工・紡糸] 4a ナノファイバー、4b 繊維・フィルム、4c 複合材料・多孔体、4d 染色・機能加工
- [5. ソフトマテリアル] 5a 液晶、5b コロイド・ラテックス、5c ゲル・エラストマー、5d ブレンド・ミクロ相分離、5e その他ソフトマテリアル
- [6. 天然繊維・生体高分子] 6a 紙・パルプ、6b 天然材料・ナノファイバー、6c 生分解性材料、6d バイオポリマー、6e バイオマス
- [7. バイオ・メディカルマテリアル] 7a 生体材料・医用高分子材料
- [8. テキスタイルサイエンス] 8a 紡織・テキスタイル工学、8b 消費科学、8c 感性計測・評価
- [9. 感性(特別セッション)] 9a 評価、9b ファッション、9c デザイン、9d マーケティング

5. 研究発表募集部門：次の 2 部門で発表を募集します。

部門 A [口頭発表：一般「A1」または若手「A2」] (討論 5 分を含んで発表時間 20 分)

部門 P [ポスター発表：一般「P1」または若手「P2」]

発表分野について、一般、若手いずれの場合も、部門番号(A1、A2、P1、P2)の後に上記 4 に示した細目セッション番号を連続させて、たとえば「A1-5d」、「P2-6b」のように選択してください。

なお、A2 ならびに P2 は優秀発表賞の審査対象部門で、応募資格は以下のとおりです。優秀発表賞表彰はワインパーティーで行います。

A2：平成 26 年 6 月 1 日現在で 40 歳未満の学会員

P2：平成 25 年 6 月 1 日現在で博士号を持たない 30 歳未満の学会員

6. 発表申込方法と締切期日

発表申込/予稿集原稿はいずれも学会 Web サイト(<http://www.fiber.or.jp>)「繊維学会年次大会」のページで発表1件ごとに登録/投稿していただきます。メール・FAX による受付は行いません。受付開始～締切は、下記のとおりです。

発 表 申 込：平成25.12.9(月)～平成26.1.31(金) 17 時

予稿原稿投稿：平成26.3.10(月)～平成26.4.4(金) 17 時

(注意)締切直前は WEB が込み合いますので、早めの申込を推奨します。また、締切期限を過ぎますと自動的に WEB が閉鎖され、以後は受け付けられなくなります。発表申し込みに関する要望・問い合わせは、学会事務局へお願いします。

7. 発表方法：

口頭発表：液晶プロジェクターが準備されています。パソコンは発表者自身をご持参ください。OHP、スライドを用いる場合は、あらかじめご連絡いただき、OHP ないしスライドプロジェクターは発表者自身をご持参ください。

ポスター：縦 180cm 横 120cm 高さ 190cm のポスターボードに掲示ください。掲示場所が不足する場合は別途ご案内します。

8. その他：不測の事態(インフルエンザ流行等)が生じた場合は、WEB 上で告知することをご承知おきください。

ご不明の点は、学会事務局(TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp)にお問い合わせください。

平成 26 年度繊維学会年次大会実行委員会

実行委員長：辻井敬亘(京大)

実行副委員長：浦川 宏(京工繊大)、戸木田雅利(東工大)、堀口智之(東レ(株))

実行委員：荒木 潤(信州大)、井上真理(神戸大)、井上倫太郎(京大)、木村邦生(岡山大)、久保野敦史(静岡大)、黒子弘道(奈良女子大)、小椎尾謙(長崎大)、澤田和也(大阪成蹊短大)、斉藤 拓(東農工大)、斉藤雅春(KB セーレン(株))、榊原圭太(京大)、竹中幹人(京大)、武野明義(岐阜大)、徳山孝子(神戸松蔭女子学院大)、中村寿美(旭化成せんい(株))、西尾俊幸(ユニチカ(株))、橋本朋子(奈良女子大)、久田研二(福井大)、松葉 豪(山形大)、村瀬浩貴(東洋紡(株))、森島一博(帝人(株))、山口俊朗((株)クラレ)、山根秀樹(京工繊大)、野々村弘人・山本恵美(学会事務局)

第 39 回 CPD(共通課題)講演会

主 催：日本繊維技術士センター

日 時：平成 26 年 1 月 17 日(金) 13:30~16:30

場 所：大阪産業創造館 5F 研修室 E
(大阪市中央区本町 1-4-5)

プログラム：

- ・アベノミクスを考える……その光と影

流通科学大学 総合政策学部長 中谷 武

問合せ先：日本繊維技術士センター(JTCC)本部事務局

TEL: 06-6339-1237 FAX: 06-6339-0337

E-mail: jtcc@nifty.com

セルロース学会第19回ミクロシンポジウム 「セルロースナノファイバーの 研究開発フロンティア」

— 未解決問題を整理して新しい展開を探る —

主 催：セルロース学会関西支部

日 時：平成 26 年 2 月 7 日(金)

場 所：大阪大学中之島センター(大阪市北区中之島 4-3-53)

プログラム：

- ・ナノセルロース海外研究開発動向

(株)三菱化学テクノリサーチ 大岸治行

- ・ナノセルロース研究開発における京都大学産官学連携
本部の取り組み 京都大学産官学連携本部 香月亜美

- ・セルロースナノファイバーの機能性材料としての展開
旭化成せんい(株)技術研究所 小野博文

- ・ナノセルロース複合材の可能性

三菱化学(株) 根本明史

- ・ナノセルロースがウッドプラスチックを革新するには？
トクラス(株)(旧ヤマハリビングテック)伊藤弘和

- ・セルロースナノファイバーの透明連続シート化

王子ホールディングス(株) 三上英一

- ・バイオマスナノファイバー販売開始の反響と課題を振り返る
(株)スギノマシン 小倉孝太

- ・マリンナノファイバーがセルロースナノファイバーを超える秘訣
鳥取大学工学研究科 伊福伸介

問合せ先：セルロース学会関西支部会計 今井友也

E-mail: timai@rishi.kyoto-u.ac.jp

第 27 回複合材料セミナー

グローバルな経済成長とエコフレンドリーな
地球の実現に向けて、今、炭素繊維飛躍の時！

主 催：炭素繊維協会

日 時：平成 26 年 2 月 14 日(金)

場 所：コクヨホール(東京都港区港南 1-8-35)

プログラム：

- ・PAN 系炭素繊維の現状と将来

東レ(株)トレカ事業部門長 河村雅彦

- ・ピッチ系炭素繊維の現状と将来

大阪ガスケミカル(株)CF 材料開発センター所長
馬淵昭弘

- ・国家プロジェクトにおける炭素繊維の役割と炭素繊維
への期待(仮)

経済産業省 繊維課課長補佐 渡邊宏和

- ・航空機用複合材の非破壊検査と非破壊検査員の育成

川崎重工業(株)品質保証部 品質技術課 椿 健二

- ・高圧水素用大型複合蓄圧器の開発

JX 日鉱日石エネルギー(株)中央研究所 岡崎順二

- ・CFRP 無人ヘリコプター(仮)

千葉大学大学院工学研究科 教授 野波健蔵

- ・鉄道車両における高分子材料

鉄道総合技術研究所 材料技術研究部
主任研究員 伊藤幹彌

- ・COMPOSITES FOR AUTOMOTIVE
LIGHTWEIGHTING

Fraunhofer Institute Chemical Technology

Prof. Dr.-Ing. Frank Henning

問合せ先：炭素繊維協会 複合材料セミナー事務局

東京都中央区日本橋本町 3-1-11 繊維会館 7F

日本化学繊維協会内

TEL: 03-3272-7108 FAX: 03-3246-0823

第 40 回 CPD(繊維技術)講演会

主 催：日本繊維技術士センター

日 時：平成 26 年 2 月 14 日(金) 13:30~16:30

場 所：大阪産業創造館 5F 研修室 A
(大阪市中央区本町 1-4-5)

プログラム：

- ・グローバル視点による繊維事業の未来戦略

大正紡績(株)取締役繊維事業本部長 近藤健一

- ・開繊加工技術による新しい繊維強化複合材料

福井県工業技術センター 主任研究員 笹山秀樹

問合せ先：日本繊維技術士センター(JTCC)本部事務局

TEL: 06-6339-1237 FAX: 06-6339-0337

E-mail: jtcc@nifty.com

第18回省エネルギーセミナー 「エネルギーコストのより一層の低減・ 省エネ促進とプラントの効率向上」

主 催：紙パルプ技術協会(JAPPAN TAPPI)
日 時：平成26年2月20日(木)、21日(金)
場 所：タワーホール船堀小ホール(江戸川区船堀4-1-1)
プログラム：
特別講演
・エネルギー基本計画と今後の日本のエネルギーのあり方
((一財)コージェネレーション・
エネルギー高度利用センター)
・日本製紙連合会2013年度のフォローアップ調査結果
と温暖化対策 (日本製紙連合会)
サプライヤー講演6件
・省エネ方法、省エネ技術の紹介
製紙会社事例発表8件
・各種省エネ技術導入・開発事例を製紙各社より発表
(詳細はホームページ <http://www.japantappi.org>)

申込み、問合せ先：

〒104-8139 東京都中央区銀座3-9-11
紙パルプ会館11階
紙パルプ技術協会 TEL:03-3248-4841
FAX:03-3248-4843
富田(tomita@japantappi.org)
高橋(takahashi@japantappi.org)

平成25年度「アパレル製品の基礎知識」 講座(東京)

主 催：日本繊維技術士センター(JTCC)
日 時：平成26年2月22日(土)、3月15日(土)
場 所：機械振興会館(東京都港区芝公園3-5-8)
講座内容：JTCCで作成するテキストをベースにして講義
を行い、また適宜サンプルや写真を用いて解説
します。講師は、JTCC所属の各専門分野の技
術士が担当します。

プログラム：

2月22日(土)
・繊維製品の品質確認方法 JTCC正会員 吉田泰教
①衣服材料の試験と検査 ②アパレル製品の試験と検査
・アパレル製品の商品化プロセス JTCC正会員 相馬成男
①アパレルの商品企画からマーキングまでの流れと要点
②副資材(裏地、芯地)
・縫製仕様書 JTCC正会員 米田圭子
①縫製仕様書とは ②縫製仕様書のみかたと注意点
・縫製工程の概要(ニット縫製および無縫製技術も含む)

JTCC正会員 米田圭子

①縫製準備工程 ②縫製工程と仕上げ工程

・代表的な縫製欠点 JTCC正会員 米田圭子
①縫製欠点の種類 ②発生原因と処置・対策

3月15日(土)

・表示等の関連法規 JTCC正会員 吉田泰教
①家庭用品品質表示法(繊維の組成、取扱い絵表示、
はっ水)
②サイズ表示(日本工業規格)
③不当景品類及び不当表示防止法(機能性表示、原産
国表示)
④薬事法
⑤各種不適正表示に関する質疑応答

・中国関連情報 JTCC正会員 上田良行
①中国の品質関連情報 ②中国の安全技術要求
③中国の輸出入における検査

・衣料品の苦情事例解析編
JTCC正会員 上田良行、JTCC正会員 吉田泰教
①消費者苦情品の事例研究
(4~5名/班に分かれて原因、再現試験方法、再発防
止のための予防・是正処置を討論)
②班毎の発表と質疑応答および事例解説

講師プロフィール(平成26年度)(50音順)

上田良行 岡本(株)品質保証室 室長 元(株)ワコール品質
保証推進部 TES会員
相馬成男 元(株)レナウン 生産部技術グループ TES
会員
吉田泰教 ボーケン品質評価機構
米田圭子 元旭化成せんい(株)ライニング研究所
受講料：21,000円(税込) 定員：50名(定員になり次第受
付終了)

問合せ先：JTCC関東事務所：TEL:03-5643-5112(基本
的に月・水・金)
JTCC関東支部長：090-4960-4765(溝口隆久)
E-mail:jtcc@nifty.com

腐食防食部門委員会 第60回研究集会 「9Cr耐熱鋼 — 9Crボイラ鋼管研究 グループの活動報告 —」

主 催：日本材料学会
日 時：平成26年2月25日(火) 13:00~17:30
場 所：大阪科学技術センター 4階 403号室
プログラム：
・9Crボイラ鋼管研究グループの活動の経緯・課題
元 物質・材料研究機構 八木晃一
・実機履歴・調査結果 三井化学(株) 森山 拓
・水蒸気酸化スケールのモルホロジー及び分類

- 元 東京電力(株) 梅村文夫
・ボイラ 9Cr 鋼の水蒸気酸化スケール厚みおよび硬さ
測定による余寿命評価とその検証

- 出光興産(株) 鈴木哲平
・実機検査手法の提案 日鋼検査サービス(株) 米山勝久
・管理フロー提案、問題提起、今後の方向

ベストマテリアル(株) 木原重光

問合せ先：公益社団法人 日本材料学会(京都市左京区吉
田泉殿町 1-101)

TEL: 075-761-5321 FAX: 075-761-5325

E-mail: jimu@jsms.jp

13-3 エコマテリアル研究会

主 催：高分子学会 エコマテリアル研究会

日 時：平成 26 年 2 月 28 日(金) 12:55~17:30

場 所：東京大学生産技術研究所(目黒区駒場 4-6-1)

プログラム：

- ・新規バイオプラスチック PLANEXT®の開発
帝人 山中克浩
- ・微細藻類由来物質のバイオマテリアルとしての活用の
可能性について ユーグレナ 鈴木健吾
- ・“クモ糸”実用化への挑戦 スパイバー 菅原潤一
- ・セルロースナノファイバーの実用化に向けた取り組み
日本製紙 河崎雅行
- ・フルフラールからのテトラヒドロフラン(PTMG 原
料)の製造技術の開発

三菱化学科学技術研究センター 辻 秀人

問合せ先：(公社)高分子学会 事業課 政次友佳

TEL: 03-5540-3771

申込方法：http://www.spsj.or.jp/entry/よりお申し込み
ください。

第 41 回繊維加工シンポジウム — 繊維加工の現況 —

主 催：繊維学会 繊維加工研究委員会

共 賛：日本家政学会関東支部、日本繊維製品消費学会

日 時：平成 26 年 3 月 19 日(水) 10:30

場 所：昭和女子大学 大学 1 号館 6S08 教室

(東京都世田谷区太子堂 1-7、東急田園都市線
三軒茶屋駅から徒歩 8 分)

1. 「繊維染色加工における酵素利用」

大阪府立大学名誉教授 高岸 徹

2. 「わが社の防汚加工商品開発事例」(仮)

帝人フロンティア(株) 横山 智

3. 「繊維用機能加工－防汚加工の種類とメカニズム」

日華化学(株) 吉野 豪

4. 「繊維製品の防汚加工マーク制度について」

(一社)繊維評価技術協議会 越智 清一

会 費：主催・協賛学会員 1,000 円、主催・協賛学会員
以外 2,000 円、学生 500 円

申し込み：下記宛に氏名、所属、電話番号、FAX 番号を
記載の上、3 月 15 日(土)までに、葉書、FAX、
または E-mail でお申し込みください。

申し込み先：〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1

日本女子大学家政学部被服学科 増子富美

FAX: 03-5981-3481

E-mail: fumimasuko@fc.jwu.ac.jp

フロンティアソフトマター開発専用 ビームライン産学連合体 第 3 回研究発表会

主 催：フロンティアソフトマター開発専用ビームライ
ン産学連合体

日 時：平成 26 年 1 月 28 日(火) 12:40~18:30

場 所：東京工業大学 蔵前会館(目黒区大岡山 2-12-1)

プログラム：

招待講演

東京工業大学 大学院理工学研究科 有機・高分子
物質専攻 教授 鞠谷雄士

東海ゴム工業(株)研究開発本部新事業開発研究所 SR 研
究室 室長 橋本和信

連合体参加メンバー講演 4 グループ

ポスター発表 連合体参加 19 グループの成果発表

問合せ先：フロンティアソフトマター開発専用ビームライ
ン産学連合体

事務局 福岡奈緒子 TEL: 0791-58-1911

E-mail: fsbl@spring-8.or.jp

〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光郡 1-1-1

大型放射光施設 Spring-8 内

第 200 回記念ゴム技術シンポジウム 新たな特性を実現させるための配合技術Ⅲ ～原材料の活用 構造制御と物性発現～

主 催：日本ゴム協会 研究部会 配合技術研究分科会

日 時：平成 26 年 3 月 12 日(水) 9:50~16:45

場 所：東京電業会館 地下ホール(港区元赤坂 1-7-8)

プログラム：

- ・分光学的手法によるゴムのリアクティブプロセス解析

- 東京理科大学理学部 嘱託教授 伊藤真義
- ・構造解析と配合(フィラー分散・架橋構造と物性)
(株)日産アーケ 加藤 淳
 - ・ゴムの難燃化技術－難燃機構と難燃剤の使い方－
西沢技術研究所 代表 西澤 仁
 - ・ゴム配合におけるファクチス(サプ)の役割について
天満サブ化工(株) 名井義和
 - ・スライドラッシング・マテリアルの基礎と応用
東京大学大学院新領域創成科学研究科

教授 伊藤耕三

問合せ先：一般社団法人日本ゴム協会 第200回ゴム技術
シンポジウム係

担当：中川(港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階)

TEL: 03-3401-2957 FAX: 03-3401-4143

E-mail: nakagawa@srij.or.jp

- ・高分子の開発事例～吸水性樹脂の開発
(株)日本触媒 吸水樹脂研究所 上席研究員 入江好夫
 - ・交流会 同センター地下1階 B101号室 参加無料
- 問合せ先：一般社団法人近畿化学協会(高分子化学研修
コース)
(大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術セン
タービル)
TEL: 06-6441-5531 E-mail: mail@kinka.or.jp

**ファイバーレネッサンスを先導する
国際フォーラム**
信州大学博士課程教育リーディングプログラム
**「ファイバーレネッサンスを先導する
グローバルリーダーの養成」国際フォーラム**
Shinshu Forum 2014 on Fiber Renaissance

第11回キンカ高分子化学研修コース

主催：近畿化学協会

日時：平成26年3月4日(火) 10:00～18:30

場所：大阪科学技術センター 4F 404号室
(大阪市西区鞆本町1-8-4)

プログラム：

- ・高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科
教授 中 建介
- ・高分子の重合プロセス～乳化重合などの微粒子分散ラ
ジカル重合反応の基礎
福井大学大学院工学研究科 准教授 鈴木 清
- ・高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合
住友重機械プロセス機器(株)
攪拌技術グループリーダー 彌富隆一
- ・高分子材料の成形加工品の評価～ユーザーから見れば
大阪ガス(株)エネルギー技術研究所
シニアサーチャー 樋口裕思

主催：信州大学

日時：平成26年3月7日(金)

場所：ホテル ニューオータニ(千代田区紀尾井町4-1)

プログラム：

- ・Tackling Grand Challenges in the Textiles Complex –
A Collaborative Effort
North Carolina State University, USA
Prof. Harold S. Freeman
- ・Innovative Textile Construction for Use in Light-
weight Composite Applications
TU Dresden, Germany Prof. Chokri Cherif
- ・Undetermined
Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong
Prof. John H. Xin

問合せ先：信州大学リーディング大学院事務局

(上田市常田3-15-1)

TEL: 0268-21-5309 FAX: 0268-21-5318

E-mail: leading-fiber_j@shinshu-u.ac.jp